

参加企業募集

ロシア水ビジネスミツション inイルクーツク

平成27年12月1日
(一社)ロシアNIS貿易会

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、弊会では、経済産業省の新興国市場開拓事業の一環として、2016年2月11日(木)と12日(金)にロシア東シベリアの中心都市・イルクーツク市に、主に水ビジネス関連の設備・技術等をテーマとした企業ミツションを派遣する運びとなりました。

本ミツションは、老朽化した水道インフラ・設備等の更新ニーズを抱えており、これらの分野に対して新技術の導入を積極的に進めているロシア市場への日本企業の進出を支援するもので、当会主催の展示会への出展とプレゼンテーションの実施、及び現地行政府との面談(詳細は現在調整中)を通じて、我が国が誇る水ビジネス関連の設備・技術等を中心に、ロシア、とりわけ極東・東シベリア地域への導入を図ることを目的としております。

この機会を活用して、ぜひ日本企業の製品・技術等を売り込んで頂きたいと考えています。

展示については、商品サンプル、カタログ、パンフレットなどを想定しておりますが、別途アイデアがあれば個別にご相談に応じます。展示・企業プレゼンテーションともに、詳細は今後ご案内いたしますが、詳細は別紙1をご参照いただき、ご関心の向きは、別紙2の「申込書」にご記入の上、2016年1月19日(火)までにメールにてお申し込みください。

敬具

□ **2016年2月11(木)12(金)日**

□ **場所: シブエクスポセンター(イルクーツク市)**

□ **展示会にかかる費用は原則、主催者が負担し、渡航費用等は参加企業の負担となります(別紙参照)。**

□ **お申し込み方法**

参加申込用紙に必要事項をご記入の上、下記、ロシアNIS貿易会までFAXもしくはe-mailでお送りください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 担当: 齋藤、鳴沢、長谷、橋之爪

TEL: 03-3551-6218 **FAX: 03-3555-1052** Email: webmaster@rotobo.or.jp

ロシア水ビジネスミッションinイルクーツク 参加要領

以下の要領で参加者を募集いたします。

- (1) 開催日時： 2016年2月11日(木) 10:00~18:00、12日(金) 10:00~14:00
- (2) 会場： シブエクスポセンター(イルクーツク市)
- (3) 参加資格： 主に水関連ビジネス等に従事する日本企業・団体等
- (4) 補助対象項目と非対象項目：
- 1) 補助対象項目
 - ◆ 展示スペース賃貸料(1社当たり横3m×奥3m)
 - ◆ 展示ブース設営費(特別仕様の場合は自己負担金が生じる場合があります。また現地に設備がなくご希望にそえない場合もございます。)
 - ◆ プレゼンテーションおよび面談の際の通訳費
 - ◆ 展示会共通パンフレットに掲載する資料の翻訳経費
 - ◆ 展示物の翻訳経費の一部(金額に上限があります。)
 - 2) 非対象項目(各自負担)
 - ◆ イルクーツクまでの渡航旅費及び滞在費(食費や宿泊費等)
 - ◆ 会場までの展示物の輸送・運搬費
 - ◆ その他、上記1)に含まれない経費

(※1) 上記展示料には1)スペース賃貸料、2)バックボード、仕切り等、ブース外壁、3)照明、4)社名看板・会社ロゴ、5)カウンター(展示台)、テーブル、椅子2つ、パンフレット棚、6)PC用電源、7)ブース設置および撤去費用を想定しています。



シブエクスセンター「パビリオン2」の様子

渡航要領

1. 基本事項

- (1) 展示会は、現地集合、現地解散を基本としていますが、視察中は団体行動を原則とします。
- (2) フライトとホテルは原則、旅行代理店等を通じて各自でご手配ください。展示会場近くにある**バイカルビジネスセンター**または**SUNホテル**がオススメです（右ホテルに宿泊される場合、ご希望があれば事務局にて予約・手配することも可能です。1泊約1万2,000円です。）
- (3) 水道関連施設を視察の際の移動に利用する**現地車両につきましては、事務局が手配します。**それ以外については、各自で手配願います（ホテルでタクシーを手配することも可能です）。
- (4) 滞在中の食事は各自でご準備・手配ください。
- (5) ロシアに渡航するにあたっては査証（ビザ）が必要です。おそれいりますが「招待状」の入手を含めて旅行代理店等を通じて各自でお手続きをお願いします。

2. 渡航日程（一例）

渡航日程の一例は以下のとおりです。これ以外にもフライトがありますので、参加者各自で手配ください。

	月日	時刻	
1	2/9 (火)	13:55	東京発 (S7568)
		17:55	ハバロフスク着
		21:20	ハバロフスク発 (SU5652)
		23:05	イルクーツク着
2	2/10 (水)	午前	展示会・プレゼンテーション準備
		午後	イルクーツク市政府訪問ほか（円卓会議）
3	2/11 (木)	終日	展示会・プレゼンテーション
4	2/12 (金)	午前	展示会・プレゼンテーション
		午後	水道関連施設視察・市内視察
5	2/13 (土)	01:50	イルクーツク発 (S7509)
		04:45	北京着
		08:25	北京発 (JL20)
		12:45	羽田着

3. 旅行会社

当会が推奨する旅行会社は以下のとおりです。

- ・大陸トラベル ・エムオーツーリストCISロシアセンター
- ・プロコ・エアサービス ・ジェーアイシー旅行センター
- ・ジャパン・エア・トラベル ・マーケティング ・インツーリスト・ジャパン

詳細（連絡先等）は当会HP「信頼と実績のロシア・NIS関連サービス業者」をご覧ください。

(<http://www.rotobo.or.jp/info/link/service.html>)

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 担当: 齋藤、鳴沢、長谷、橋之爪
 TEL: 03-3551-6218 **FAX: 03-3555-1052** **Email: webmaster@rotobo.or.jp**

参加申込用紙

(1) 申込者氏名		英文表記	
(2) 勤務先名称			
英文表記			
(3) 所属部署			
英文表記			
(4) 役職		英文表記	
(5) 勤務先住所	〒		
(6) 勤務先TEL		(7) 勤務先FAX	
(8) E-mail			
(9) 連絡担当者		(10) 担当者TEL	
(11) 担当者Email			
(12) 現地連絡先TEL		(13) 宿泊先ホテル名	
(14) ホテルの予約希望 ※バイカルビジネスセンターまたはSUNホテルについてはご希望により事務局にて予約手配致します。	希望するホテル名： IN (月 日) OUT (月 日) (泊) アーリー・チェックイン ☐ / レイト・チェックアウト ☐		
(1) 希望される展示内容 ※ テーマ、展示形式(ポスター、パンフレット、現物展示等)等。 ※ 別紙1記載の基本ブース設備以外に、追加を希望する設備・備品等があればそちらもご記載ください。			
(2) その他、本事業に参加する上でのご希望、不明点等 ※ 追って担当者よりご連絡申し上げます。			

※個人情報の取扱には十分注意し、当案件以外の目的では使用いたしません。

イルクーツクへのフライト一覧

※以下のフライトは2015年10月時点のものであり、航空会社の都合で変更される場合があります。旅行手配する際は旅行社にご確認ください。

※時間は現地時間。

□経由便 (ハバロフスク)

東京→ハバロフスク

曜日	便名	発	着
火日	S7568	13:55	17:55

ハバロフスク→東京

曜日	便名	発	着
火日	S7567	11:00	12:55

ハバロフスク→イルクーツク

曜日	便名	発	着
毎日	SU5652	21:20	23:05

イルクーツク→ハバロフスク

曜日	便名	発	着
毎日	SU5653	00:35	06:05

※往路(イルクーツク行き)は木曜日を除く。※復路(ハバロフスク行き)は金曜を除く。

□経由便 (ソウル)

ソウル→イルクーツク

曜日	便名	発	着
金	KE983	07:15	10:45
水	S7504	11:20	14:35

イルクーツク→ソウル

曜日	便名	発	着
水	S7503	05:15	10:10
金	KE984	12:15	17:00

※往路:ソウルで前泊することになります。 ※復路:その日のうちに東京(成田・羽田)に帰国することができます。

□経由便 (北京)

北京→イルクーツク

曜日	便名	発	着
月水土	S7510	05:35	08:50
水土	HU7967	10:00	13:15

イルクーツク→北京

曜日	便名	発	着
月水土	S7509	01:50	04:45
水土	HU7968	15:15	18:05

※往路:北京で前泊することになります。 ※復路:その日のうちに東京(成田・羽田)に帰国することができます。

□経由便 (ウラジオストク)

東京→ウラジオストク

曜日	便名	発	着
火木日	S7566	15:25	19:05

ウラジオストク→東京

曜日	便名	発	着
火木日	S7565	13:05	14:30

ウラジオストク→イルクーツク

曜日	便名	発	着
水金	S73274	11:10	13:45
水日	U6286	12:20	14:40

イルクーツク→ウラジオストク

曜日	便名	発	着
水日	U6385	04:45	11:00
水土	S73273	23:00	05:30

□ 経由便 (ウランバートル)

ウランバートル→イルクーツク

曜日	便名	発	着
月水金	MNG101	19:40	21:00

イルクーツク→ウランバートル

曜日	便名	発	着
月水金	MNG102	22:10	23:45

□ モスクワ便

モスクワ (ドモジェトボ) →イルクーツク

曜日	便名	発	着
毎日	U6105	19:20	06:00
毎日	S7778	21:25	08:05
火・土以外	S7776	23:00	09:40

イルクーツク→モスクワ

曜日	便名	発	着
毎日	U6106	07:30	08:55
毎日	S7777	09:35	11:00
火・土以外	S7775	18:30	19:55

モスクワ (シェレメチエボ) →イルクーツク

曜日	便名	発	着
毎日	SU1562	00:30	11:10
毎日	SU1440	17:40	04:20
毎日	SU1442	21:45	08:25

イルクーツク→モスクワ

曜日	便名	発	着
毎日	SU1441	05:50	07:10
毎日	SU1443	09:55	11:05
毎日	Su1563	12:40	13:55

イルクーツク基本情報

1. イルクーツクについて

イルクーツクは、東シベリアの中心工業地域であり、世界最大の淡水湖であるバイカル湖南端に位置する。東京からの距離は約3,300km、マニラやハノイ等、東南アジア諸都市とほぼ同じである。

イルクーツク市はイルクーツク州の中心都市であり、シベリア鉄道が通過する交通の要衝の地であることや豊かな天然資源を背景にシベリア開発の中心地として発展してきた。なお、金沢市と姉妹都市関係にある。

イルクーツクの位置



2. データ

州人口：約230万人（市内人口は約60万人）

州面積：約74万km²

（日本の約2倍。なお、市面積は432 km²と、東京23区の2/3程度）

時 差：マイナス1時間

航 路：すべて経由便。主な航路は以下。

- ハバロフスク経由
（週6便、アエロフロート航空）
- ソウル経由
（週2便、大韓航空またはS 7 航空）
- 北京経由
（週5便、海南航空またはS 7 航空）

気 候（2月）：

平均最低気温 マイナス19.8度

平均最高気温 マイナス7.9度

*昼夜の寒暖差が大きい。

3. 主要な産業・企業

イルクーツク州の産業は、エネルギー及び水資源消費型産業（製鉄・非鉄金属、化学産業、木材加工、紙パルプ等）に偏重しており、ロシアの全国的な産業構造とは相違がある。主要企業は以下の通り。

- ・TMバイカル（木材加工）
- ・ブラーツク製材・製紙コンビナート
- ・イルクーツク・アルミニウム工場
- ・ブラーツク・アルミニウム工場
- ・アンガルスク石油化学コンビナート
- ・ブラーツク水力発電所

4. 渡航上の注意

（1）天候等

屋内は一般に暖かいが、屋外では2月にはマイナス20度を下回ることもあり、寒さ対策が必要。また、積雪への注意・室内での乾燥対策も必要。

（2）査証（ビザ）

ロシア入国にはビザの取得が必須。

（3）言語

街中では英語はほぼ通じない（会場やホテルに英語可のスタッフがいる程度）。

5. 市内について

（1）交通

主要な通りではバスや市電を利用できる。尚、1 km四方の範囲に収まる中心部は徒歩でも十分に移動可能。

（2）レストラン

市内にはレストランが多数。価格は手頃ではあるが、少なくとも一人1,000ルーブル程度の準備が望ましい。

（3）観光・名所

バイカル湖畔までは車で1時間ほど。市内の町並みは美しく、スパスカヤ教会、鉄道歴史博物館などの名所もある。

イルクーツクの水事情

1. 上 水

○イルクーツク市はアンガラ川流域の広がる人口約60万人の街です。飲み水はそのアンガラ川から取水しています。バイカル湖からの水であり、上流部に位置していることから水質には大きな問題はなく、浄水施設では塩素による滅菌処理してから、各家庭・企業に供給しています。

○イルクーツク市では濁りと汚物や農業肥料など生物的汚染がある程度ですが、下流に行けば行くほど、上流部からの下水処理水・排水が合流するため、水質は悪化します。

○農村部や域内に川がない地域では地下水を飲み水に使用しています。地下水や井戸からの水を飲み水に使っている集落では、地下水の多く含まれる鉄分を除去し、きれいな水にするかが課題となっています。

○漏水も課題の1つです。漏水率は2割に達しているとのこと

2. 下 水

○イルクーツク市の下水はほぼ100%、アンガラ川両岸にある下水処理場で処理された後、放出されています。しかし、衛生基準を満たしていません。統計を見ても、年間下水処理量は1億 m^3 にのびますが、衛生基準を満たしているのは0%です。国の衛生基準は年々厳しくなっており、それに合わせるのが大変とのこと。設備更新を進めていますが追いつかない状況にあります。

○市内には上下水道合わせて82カ所のポンプステーションがあります。うち上水が25カ所、下水は57カ所です。すべてのポンプは中央管理室で圧力の調整を行っていますが、ポンプの開け閉めの自動制御は一部にとどまっています。ポンプの更新を段階的に進めています。

○汚泥処理が課題となっています。

○州内には、石油化学コンビナートやアルミニウム工場などの製造セクターがありますが、これら企業でも、排水処理は大きな課題となっています。

○上下水道とも設備は全般的に老朽化しています。設備更新は段階的で、欧州勢が進出しています。

3. 課題と需要

○下水・排水処理設備(フィルター等)

○ポンプは省エネと自動化タイプ(老朽化で更新時期を迎えている設備が多数あり、集中制御に関心)

○汚泥処理(イルクーツク市)

○水質分析機器・計測器(取り付け型とポータブル型)

○パイプと継手

○小型浄水装置(フィルター、ポンプ、インバータなどが一式揃った設備)

○蛇口前ビジネス、新築マンションへの水道設備の一括供給

(※)上記情報は弊社職員が現地でヒアリングした結果をまとめたものです。